

令和2年 地域懇談会（宇野中学校区）

I 期日：令和2年 11月17日（火）
会場：産業振興ビル 3階展示会議室

II 開会時刻：19時00分
閉会時刻：20時30分

III 会議内容

1. 開会

2. 説明（学校教育課長 教育総務課長より）

3. 質疑応答

（参加者）GIGA スクール構想は魅力的であるが、持ち帰りや使用中の破損、盗難紛失などに備えた端末の管理面はどうなっているか。

（教育総務課長）基本的に学校で使用する。学校で保管する際は教室に設置している鍵のかかる保管庫に入れて管理する。

（参加者）鉾立小学校の耐震工事はできているのか。

（教育総務課長）鉾立小学校には木造校舎と通常の校舎がある。通常の校舎は新耐震基準の校舎である。木造の校舎については耐震診断を行った結果、耐震性能はなく、耐震化はできていない。

（参加者）学校の先生が少ない感じがする。正規の先生と臨時的な先生がいるが、正規の先生を増やすことはできないのか。

（学校教育課長）先生の数は標準定数法という法律で決まっている。法律上、定数が決まっているので、増やすとなると、国の加配、県の加配をもらってくるということで市教委として努力はしているが、増える数は若干数である。

（参加者）市費で先生を増やす、正規でなくても一校に一人ずつ増やすといったことも考えられる。宇野中学校区・中学校区は特に先生が少ないが、そのようなことは考えていないのか。

（学校教育課長）潤沢に予算があれば、そういったことも考えたいが、人一人を常勤で入れるとなると、1,000万円弱かかってくる。なかなか今の状態でそのようなことが難

しいという現実がある。

(参加者) 不登校についていろいろな対策をしていると思うが、改善が見られたような取り組みの例があれば知りたい。

(学校教育課長) 不登校の全体像でいうと、半数は改善されて学校復帰をしているが、それと同時に新たな不登校が生まれている。この繰り返しが続いており、全体として減っていないという現状がある。

(教育長) GIGA スクール構想に関連して、夏季休業中に、学校と家庭を Zoom 等で遠隔でつなぐ取組を各校で行っている。その中で、不登校の児童生徒が教室とつながって改善に向かったという報告も聞いている。そういった取組も効果があると考えている。

(参加者) 教員不足、急激な若返り、学校職員の働き方改革等の話題があったが、若い先生が短い時間で業務をこなせるのか。本当の時間が表れているのか。職員の数も増やせない状況で矛盾を感じる。

(学校教育課長) 勤怠管理システムを職員室に導入し、タブレット端末で勤務時間を把握している。平均で言うと、小学校で45時間未満は達成されている。中学校は難しい状況で、そこには部活動の問題がある。平均値での達成なので小学校でもある程度の先生方が45時間を超えている。どこの小中学校でも、地域の協力や、行事の精選により、少しずつ負担を減らす取組がある。教育委員会でも、様々な会議や研修会、学校に対する調査等を削減し、業務改善に向けて、市全体で軽減に取り組んでいる。

(参加者) 地域住民として、学校支援に協力を惜しまないが、安心安全面の指導を教育委員会として指導をしっかりしてほしい。

(参加者) 教育委員会や、地域の方々がこういう取組をしているということを実感して何人の人が知っているのか。一部の人だと思う。もっと広報する取組を考えたほうが良いのでは。

(参加者) 私は高齢である。教育委員会の取組をもっと PTA の世代の人が知る機会を作ったほうが良いのではないかと。若い世代を育てることが大切ではないか。

(学校教育課長) 学校支援していただいている人材の高齢化がどこの地域でも課題となっており、後に続く方々の育成が大切になっている。今後に向けて、よい案があれば提案いただきたい。

(教育長) こういった懇談会はこれで終わりではなく、今後も続けていく。広報についてもしっかりと続けていく。

(参加者) 子ども楽級について、感染症の広がり、今年度は飲食を伴うものは中止になっている。開催については教育委員会が決められているのか。子どもの安全安心が一番なので、何もしないのが一番だが、それでは体験学習が充実しない。

(社会教育課長) 活動の決定については、市役所の対策会議で方針が決まっている。今後については不透明な部分が多い。With コロナということで、感染防止に努めながら徐々に緩和の方向に進めればと考えているが、全国的な状況も見ながら決定していきたい。

4. 閉 会